

金沢大学経済学類の学生らが女性活躍の推進に関する研究成果を報告

2月22日、金沢大学人間社会環境研究科経済学専攻1年の小竹由夏さんと経済学類4年の吉尾知佐子さん、松本莉奈さん、岩脇芽生さんが2024年度大学・地域連携アクティブフォーラムで「女性活躍の推進に関する実践」を報告しました。同活動は金沢大学融合研究域融合科学系の寒河江雅彦特任教授と金城大学総合経済学部の齊藤実祥助教、同学部の平子紘平准教授らの指導及び白山市の協力の下、同市に居住する女性の生活面・仕事面・子育て面に関する実態を調査するため、市民向けアンケート調査と企業向けのヒアリング調査を実施し、白山市で女性活躍を推進する上での課題について解析しました。

アンケート調査及びヒアリング調査の結果から、「①家庭における家事・育児の女性側への偏り」、「②労働時間と労働形態の柔軟性の低さ」、「結婚や出産、転勤・離職等の各ライフステージでの社会で働く女性のロールモデル不足」の3つの問題点が明らかになりました。また市民の白山市に対する評価として、白山市の衣食住の快適さを述べる声や、生活と就労環境の整備(子どもの遊び場や就労環境改善に関する啓蒙活動等)を望む声などが見受けられました。

今後は本分析の結果を白山市へフィードバックし、女性活躍推進に関わる白山市独自の施策の提案や産学官連携によるスキルアップ・リスクリング機会の創出などを実施していきます。



研究成果を報告する小竹由夏さん



地域活性化に関わる奨励賞を受賞



集合写真の様子